

1. 実践研究テーマ

- ・家庭学習の充実と質の向上
- ・徳島版読解力を生かし、ICTを有効活用した授業改善

2. 取組の内容(協力校等との連携等を含む)

- 家庭学習の充実と質の向上を目指して
 - ・家庭学習の意義や、習慣付けることのメリットを伝えるとともに、ICTを活用した課題の出し方を工夫する。
 - ・家庭学習の友を活用し、個々で目標を決める。
 - ・随時教室で自主学習ノート展を開設。
 - ・中間・期末テスト前に一週間の家庭学習強化週間を設けて、生徒の意識を高める。
- 徳島版読解力を生かし、ICTを有効活用した授業改善を目指して
 - ・ステップアップテストと全国学力・学習状況調査の結果分析を行い、全教職員で、本校生徒がつけるべき力や改善策を共有した。
 - ・徳島版読解力育成授業づくり研修(校内職員研修)を行い、授業づくり(主に協働学習)についてグループワーク等を行った。
 - ・県教育委員会や鳴門教育大学、協力校と連携し、国語と数学における授業づくりを行い、研究授業を実施した。
- 全体的な取組として
 - ・学力向上プランを作成し、協力校とも連携して、全員で共通理解した。
 - ・学力UP応援コーナーとして、授業や家庭学習で、どのようなことを意識するべきかのアドバイスなどを掲示した。



3. 取組の成果

○ 教職員の変容

- ・全教職員で効果的な宿題について考えたり、校内研修を行ったりしたことで、学校力向上への意識が高まり、班活動やタブレットの使用などを工夫して、生徒の意見や考えを表現しやすいように授業の中に取り入れることができている。
- ・各学年で本校生徒がつけるべき力を共有し、生徒に意識付けすることで、学力向上につなげている。
- ・実技教科においても、MetaMoliなどを利用し、活動の様子や成果を教員・生徒共に視覚化できるような工夫ができていた。

○ 児童生徒の変容

- ・クラスで発表するとなると、ハードルの高い生徒がまだ多いが、班やペアなど少人数での意見交換は抵抗なくできる生徒が増えている。
- ・生徒自身が、自分がつけるべき力を自覚し、授業の中で積極的に学ぼうとする意欲を感じられるようになった。

4. 2年次に向けての取組予定

- ・以前より行ってきた取組に加え、今年度から始めた取組も継続して行い、生徒の学力向上への礎となるようにする。
- ・一つ共通の柱を決めて、(例えば「生徒の表現力を高める授業」など)全教科で実践してみる。